

3. よくある悪い例

次のような写真を提出された場合、再提出をお願いすることがございます。

① レシートが不鮮明なもの

提出された写真は職員が一人ひとり確認しております。光の加減やカメラの焦点が合っていないなどで不鮮明な写真は、購入商品の内訳が分かりかねます。

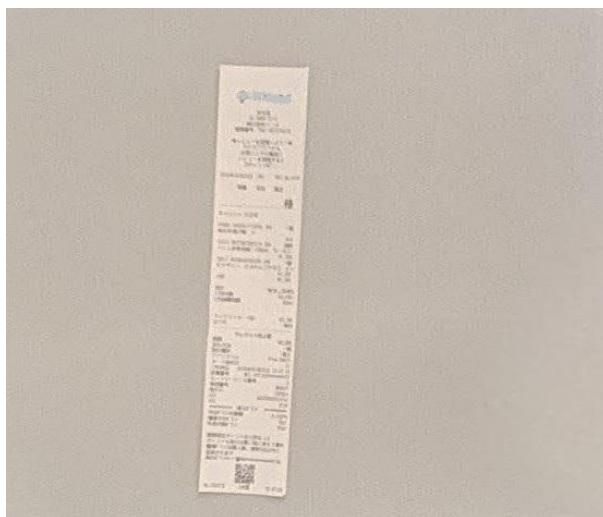


図 1 不鮮明なレシート例

②氏名、住所、購入商品の内訳が不明な領収書

下図のように、氏名が無記名の場合、ご本人が購入したかどうか判断しかねます。また、住所が無記名の場合も、同様に渋谷区民が購入したものか判断しかねる領収書になります。購入商品の内訳が不明の領収書についても、助成金の対象品を購入しているかが分かりかねるため、購入商品の内訳が分かる領収書等を求めることがあります。

氏名・住所が無記名 ↓ 領収書

No. _____

2000年10月1日

↓ 購入商品の内訳が不明

金額 ¥5,440-

上記正に納収いたしました。 但し、食品(軽減税率対象) 雑貨代として

印紙

税率内訳	税抜金額	消費税
8%	¥3,000	¥240
10%	¥2,000	¥200

株式会社〇〇〇〇
登録番号: T12345678〇〇〇〇〇〇
〒000-0000
東京都西新宿〇〇町4-5-6〇〇ビル〇階
TEL: 〇〇〇〇〇 FAX: 〇〇〇〇〇

図 2 氏名、住所、購入商品内訳が分からない領収書例